平成 27 年度　第 4 回小松市総合教育会議

日時　平成 27 年 12 月 15 日（火）
　　午後 3 時 00 分～3 時 45 分
場所　小松市役所 3 階 3B 応接室

次　第

１　開　会

２　あいさつ

３　討議事項
・教育大綱の実現に向けての今後の教育展開

４　その他

５　閉　会

教育大綱の実現に向けての今後の教育展開

理念

智仁勇　あすのこまつを創る人

目標

- 生涯にわたり みずから学ぶ人
- 思いやりのある 心豊かな人
- すこやかで 活力あふれる人
- ふるさとを愛し 世界にはばたく人
- 未来を拓き たくましく 生きる力を育む

大綱

教育推進の地域ポリシー

1. 学校と地域や企業、関係団体など地域が一体となり、まち全体で子どもたちを守り育てます
2. 幼児教育から義務教育、高等教育へと切れ目ない一貫した教育を展開し、未来を担う子どもたちを育てます
3. ダイバーシティ（多様性）に対応できる、感性豊かな子どもたちを育てます
4. 親子や家族で互いに愛情を感じ、感謝する心を育みます
5. 豊かな自然と食、伝統文化、産業技術力を生かしたこまつ独自の教育で、ふるさとを愛し世界で活躍する人材を育てます
6. 文化、スポーツの環境を整え、指導者を育成し、全国・世界で活躍する人材を育てます
7. 機動的な市組織づくりを進めるとともに、地域の推進体制も充実し、教育の推進組織を高めます

実施計画

主な施策の観点

（1）夢や希望をもち、より高い目標に向かって、自ら進んで行動できる人の育成

（2）確かな学力を身に付け、創造性や個性を伸ばし、自ら課題を発見し解決できる人の育成

（3）自らを律し、人を思いやる心豊かな人間性の育成

（4）伝統と文化を尊重し、ふるさとに誇りをもち、世界で活躍できる人の育成

（5）健康や体力の増進に努め、意欲・活力のある人の育成

（6）時代や社会の変化に対応し、安全・安心で快適な環境づくり

主な事業展開

現状	今後期待される成果
中学生サミット ・他校の実態、現状を知ったり、交流したりする機会がないことから、中学生相互の共通理解を図る必要がある	・中学生がサミットを企画・運営することによる主体性や自治意識の向上 ・協議を通しての市内中学生の共通理解
こまつチャレンジスクール ・基礎的な学力に課題があることから、児童生徒に学習を補充する機会を設定する必要がある	・「わかった」「できた」の実感 ・学ぶことへの興味関心の向上 ・授業や学習への積極的な参加 ・学力の向上
青少年健全育成大会 ・関係団体が連携を深め、共通の意識を持って青少年の健全育成をより効果的に進める必要がある	・家庭・学校・関係団体との連携強化と活動の活性化 ・問題意識の共有 ・思いやりの心や規範意識の醸成 ・不登校の防止
子供歌舞伎「勧進帳」 ・伝統文化や先人達の歴史への理解を深め、次世代へと継承していかなければいけない	・主体性、チャレンジ精神、協調性の育成 ・ 日本人としてのアイデンティティと異文化に対する理解を持ったグローバル人材の育成 ・社会貢献意識の醸成
1校1プラン・スポチャレ ・小学校は体力テストの結果が全体的に県平均より低いことから、体力の向上を図る必要がある	・児童の運動への興味関心の向上 ・児童生徒の実態に応じた1校1プランを作成することによる各校の課題の克服
適正規模検討委員会 ・児童生徒の増減に伴う小中学校の適正規模化を行っていく必要がある	・適正規模化による教育の質の向上 ・小中一貫、連携による中1ギャップ等の問題の解決